

学習の手引き③



クラス：

名前：

国語科の学習 《 3年 》

1 目標（学習のねらい・教科の特徴）

- 社会生活に必要な国語の知識を身に付けることができるようにする。
- 人との関わりの中で、自分の考えを広げることができるようにする。
- 言葉の価値や言語文化を認識しようとしている。

2 教科書・副教材・持ち物

教科書名	「伝え合う言葉」3
副教材名	国語便覧・文法ノート・単元別漢字
授業の持ち物	教科書・ノート・ワーク・単元別漢字・国語便覧 ※文法ノートは指示があったときのみ

3 年間の学習項目

前期	後期
詩（春に） 小説（素顔同盟） 随筆（なぜ物語が必要か） 論説文（メディアリテラシーはなぜ必要か） 古典（おくのほそ道） スピーチ 批評文を書く 【文法】 付属語 など 【漢字】 漢字の広場・単元別漢字学習 【言語】 言葉の小窓	詩（やわらかな想い） 古典（和歌の調べ） 小説（故郷） 学びのチャレンジ 自己PR文を書く 【漢字】 漢字の広場・単元別漢字学習 【言語】 言葉の小窓 【書写】 行書・書き初め

4 評価の観点と主な評価方法

評価の観点	主な評価物
言語に関して十分な知識を持ち、応用して活用することができる。 （知識・技能）	・定期テスト（漢字、語句、文法等） ・日常の漢字テスト ・課題の内容（ワークシート、ノート） ・授業時の観察（発言内容等） ・単元まとめ
「論理的に考える力」「想像し、共感する力」「社会生活において伝え合う力」を高め、自分の考えを深めることができる。 （思考・判断・表現）	・定期テスト（文章読解、作文、聞き取り等） ・課題の内容（ワークシート、ノート） ・スピーチ、作文等 ・授業時の観察（発言内容等） ・単元まとめ
進んで言葉についての理解を深め、言葉を通して思いや考えを広げようとしている。 （主体的に学習に取り組む態度）	・ノート、ワークシート等 ・授業時の観察（発言内容等） ・単元まとめ ・漢字の活用

5 先生からのアドバイス

(1) 授業でのポイント

- ①ノートは詰めすぎず、余裕をもって使う。色づかいも考えるとよい。
- ②ノートの余白に大事な説明、気がついたことなどを書いたりする。
- ③課題に対して必ず自分の考えをもち、積極的な発言や記述を心がける。
- ④話し合いやグループ活動に積極的に参加する。
- ⑤宿題・提出物は必ず期限を守る。

(2) 家庭学習のポイント

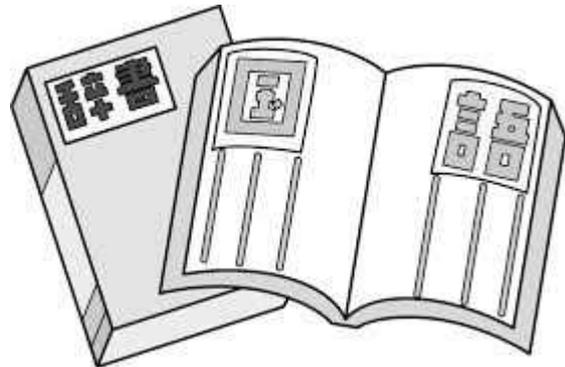
- ①漢字の書き取りを繰り返し行い、小テストで高得点を目指す。間違えたところを中心に復習する。
漢字を使った熟語を作る。熟語を使った短文を作る。言葉の意味を調べる。
- ②音読、朗読を行う。
特に古文、漢文は現代語訳と合わせて、すらすら読めるようにする。
- ③文章の内容（あらすじ、要約）や、その日に学習したことを他の人に説明する。
- ③幅広いジャンルの文章を読む。
- ④新聞を読む。

※新聞を読む習慣があると、読解力、文章をまとめる力（要約力）がつけます。是非毎日新聞を読むようにしましょう。時事問題は、小論文や作文を書くときの事例としても利用できます。

夏休みの自由研究として、「毎日自分の選んだ新聞記事をまとめる、感想、意見を書く」等が考えられます。

(3) テスト勉強のポイント

- ①小説ならばあらすじ、説明的文章ならば要約文を書けるようにしておく。
- ②ノート、課題プリント等から重要な問いについて、考えて自分の言葉で書けるようにしておく。
- ③出題範囲の漢字を全て書ける（読める）ようにする。
- ④文法事項を理解できるようにする。
- ⑤その他、覚えるべき事柄は繰り返し復習してしっかり覚える。



社会科の学習《3年》

1 目標(学習のねらい・教科の特徴)

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

2 教科書・副教材・持ち物

教科書名	未来をひらく歴史（教育出版） 中学社会 公民的分野（日本文教出版）
副教材名	よくわかる社会の学習 歴史2・3（明治図書） よくわかる社会の学習 公民（明治図書） 中学歴史資料集 学び考える歴史（浜島書店）
授業の持ち物	教科書 資料集 地図帳 ノート ワーク 色えんぴつ はさみ のり

3 年間の学習項目

歴 史 分 野	公 民 分 野
第7章 二度の世界大戦と日本 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次世界大戦と民族独立の動き ・ 大正デモクラシー ・ 恐慌から戦争へ ・ 第二次世界大戦と日本の敗戦 第8章 現代の日本と世界 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の民主化と冷戦 ・ 世界の多極化と日本 ・ 冷戦の終結とこれからの日本 	第1編 私たちと現代社会 第2編 私たちの生活と政治 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1章 個人の尊重と日本国憲法 ・ 第2章 国民主権と日本の政治 第3編 私たちの生活と経済 第4編 私たちと国際社会 第5編 私たちの課題

4 評価の観点と主な評価方法

評 価 の 観 点	主 な 評 価 物
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・ 定期テスト <li style="width: 50%;">・ 小テスト（単元テスト） <li style="width: 50%;">・ レポート <li style="width: 50%;">・ 振り返りシート
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・ 定期テスト <li style="width: 50%;">・ 小テスト <li style="width: 50%;">・ レポート <li style="width: 50%;">・ 振り返りシート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・ レポート <li style="width: 50%;">・ 振り返りシート、ノートまとめ <li style="width: 50%;">・ 小テスト（単元テスト）の取り組み

5 先生からのアドバイス

「めざせ！社会科のプロフェッショナル！！」

(1) 「確かな学力」を身につけるには…

- 学習課題を理解し、課題に対して前向きに取り組もう。
- 疑問に思うことや分からないことを明らかにし、解決する努力をしよう。
- 学習課題に対して、たくさんの友人の意見を踏まえて考える力をつけよう。

(2) 「家庭学習」を充実させるためには…

- その日に学習したことを、ワークなどで定期的に復習しよう。
- 夏休みや冬休みなどは、学習の振り返りをする絶好のチャンスです。弱点の補強や長所を伸ばすことに有効に活用しよう。

(3) 定期テストを頑張るためには…

- 範囲は2週間前に発表します。テスト勉強のポイントをしっかり押さえて、計画的にテスト勉強に臨もう。
- 定期テスト前後にノートやワークの点検を行います。日頃からコツコツとまとめたり、取り組んだりしておくことが重要です。

(4) 評価について

○知識・技能の評価

- ・授業で扱った内容が理解できているか。
- ・単元別テスト、定期テストにおいて知識を習得できているか。
- ・授業で扱った内容を理解してレポート等を記述しているか。

○思考・判断・表現の評価

- ・授業で扱った内容を説明できているか。
- ・授業で扱った事柄をつなげてわかりやすくレポートや定期テスト等で記述をしているか。
- ・知識を活かして適切な表現を授業で行えているか。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・学習した内容を自分に関わることとしてレポート等に記述しているか。
- ・適切に自分の学習状況を振り返っているか。
- ・自分の理解度や学習状況に応じて粘り強く学習に取り組んでいるか。

※定期テストだけでなく、授業での評価物（単元テストやレポート、発表内容など）家庭学習の取り組みを総合的に評価します。

数学科の学習《 3年 》

1 目標(学習のねらい・教科の特徴)

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学と実社会との関連についての理解を深め、数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成することを目指すこととする。

2 教科書・副教材・持ち物

教科書	未来へひろがる数学3 (啓林館)
副教材	e-library
持ち物	ノート・ファイル・コンパス・三角定規一組・分度器

3 年間の学習項目

前 期	後 期
1章 式の展開と因数分解	5章 図形と相似
2章 平方根	6章 円の性質
3章 二次方程式	7章 三平方の定理
4章 関数 $y = a x^2$	8章 標本調査とデータの活用

4 評価の観点と主な評価方法

評 価 の 観 点	主 な 評 価 物
数量や図形などについて理解し、知識を身につけ、正しく計算、作図ができ、グラフをかくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト ・小テスト <p style="text-align: right;">など</p>
見通しを持ち、筋道をたてて考え、表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト ・小テスト ・レポート <p style="text-align: right;">など</p>
自らの学習を調整しようとし、主体的に粘り強く学習に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート等の授業で取り組んだもの ・授業での発表の内容 ・自主的に学習したもの <p style="text-align: right;">など</p>

5 先生からのアドバイス

「数学は科学の女王である」「自然という書物は数学の言語で書かれている。」

前者はガウスという大数学者、後者は皆さんもご存じのガリレオの言葉です。最近では、せまい意味だけではなくあらゆる学問のもとが数学につながっているといっても言い過ぎではありません。急速に進歩発展しコンピューター社会化する現代の社会では、皆さんが将来どんな方面に進んでいくにしても、数学をしっかり身に付けておくことが必要です。

もちろん、数学で使う用語の決まりや定理、公式などは覚えていなくてはなりません。これらを、ただ知識として覚えているだけでなく、さらに、いろいろな問題を解く材料として活用できることが大切です。また、計算問題は繰り返しやって、コツをつかみましょう。応用問題もいろいろなパターンの問題に慣れることが大切です。解法に気がついたときの感動が、次の問題への興味や関心、意欲につながっていきます。

<<学習の進め方>>

- (1) 教科書やノートはもちろん、図形であれば、コンパスや三角定規など用具の準備を忘れないようにしましょう。
- (2) 自分がこれから考える問題は何か、問題をしっかりと読んで、何が解っていて何を答えるのかをしっかりとつかみましょう。
- (3) 自分なりの考えで、途中までも良いからやってみましょう。
- (4) 自分の解き方を発表したりして友達のもの比べてみましょう。もしも、やり方が違っていたら、説明してあげたり、教えてもらったりしましょう。
- (5) 学習して解ったことや用語の意味、定理や公式など大切なことは、きちんとまとめておきましょう。
- (6) その日学習したことは、その日のうちにもう一度やってみたり、問題集で類題を解いてみましょう。

<<家庭学習のアドバイス>>

【自分の力にあった問題を解くことが大切です。】

- ・十分力がついたと感じたら応用問題を中心に学習を進めましょう。
- ・計算力が不足な人は計算問題をまずできるようにしましょう。
- ・計算方法の理解が不十分な人はそこから復習しましょう。
- ・力があるのに簡単な計算問題をやったり、また逆に計算力が身に付いていないのに応用問題に取り組んでも効果は上がりません。

※スラスラと解けなかった問題については後日改めて挑戦してください。

理科の学習《3年》

1. 目標(学習のねらい・教科の特徴)

- | |
|--|
| (1) 観察・実験などに関する基本的な技能を身につける。 |
| (2) 観察・実験を通して、科学的に調べる力を身につける。 |
| (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に考えようとする態度を身につける。 |

2. 教科書・副教材・持ち物

教科書名	未来へひろがるサイエンス3
副教材名	千葉県リハーサル6回分、基本の確認ドリル3、理科の完全学習(希望者に販売)
授業の持ち物	・教科書 ・ファイル ・保護めがね ・Chrome Book

3. 年間の学習項目

前 期	後 期
<p>[エネルギー] 運動とエネルギー</p> <p>1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用</p> <p>[生命] 生命の連続性</p> <p>1章 生物の成長とふえ方 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化</p>	<p>[物質] 化学変化とイオン</p> <p>1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩</p> <p>[地球] 宇宙を観る</p> <p>1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方</p> <p>[環境] 自然と人間</p> <p>1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして</p>

4. 評価の観点と主な評価方法

評 価 の 観 点	主 な 評 価 物
<p>知識及び技能</p> <p>(科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的技能を身に付けている。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・観察、実験の器具の扱い方 ・スケッチやグラフの作成 ・小テスト
<p>思考・判断・表現</p> <p>(事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・レポート(ワークシート)
<p>主体的に取り組む態度</p> <p>(事物・現象に進んで関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元シート(OPPシート) ・提出物の提出状況

ファイルは各単元の終わりを目安に提出をしてもらいます。(提出日等は授業中に説明します。)

5. 先生からのアドバイス

●教科書について

…この教科書は内容が盛りだくさんであり、資料集としての役割も果たしています。その分、発展的な内容も混ざっているため、「基本」を授業でしっかり確認しましょう。

●授業について

…何といっても、授業を大切にすることが一番です。

- (1) 3分前には着席し、3分前学習が始められるようにしましょう。
- (2) 学習課題をしっかりと認識し、今日の目的(ねらい)をもって授業に取り組みましょう。
- (3) 話をしっかりと聞き、注目して見る大切です。
- (4) 互いの意見や考えを積極的に交換し、学び合うことで、理解を深めましょう。
- (5) 班で協力し、進んで観察や実験に参加しましょう。
- (6) ファイルは復習の際の参考書替わりです。後で見返すことができるよう丁寧に記録し、配布物はしっかりと考えて貼付しましょう。
- (7) 内容が理解できたかを確認するために、復習を中心に家庭学習に取り組みましょう。
- (8) 疑問点や興味を持ったことは、進んで質問しましょう。

●勉強の仕方

- (1) 日常の生活では？
 - ・テレビや漫画(科学番組・特集・ニュースなど)に出てくる科学の話題に、触れましょう。
 - ・季節の花、野菜、果物、身の回りの動物に目を向けましょう。
 - ・庭、公園、通学路、天気、星など身近な自然に目を向けましょう。
- (2) 授業のポイントは？
 - ・その日の授業の内容をファイル、教科書などで整理し、授業内容に付け加えたりする。(ただし、教科書を読むだけで分かったつもりになってはだめです。書きながら、やるのが大切です。これなら1日10分程度でできます。)
 - ・問題集(副教材)で、内容が理解できたかを確認しましょう。
 - ・時間に余裕があれば、自分で買った問題集などで力試しをしてみましょう。
 - ・分からないことは、先生に質問しましょう。
- (3) 理科の基本事項とは？
 - ・身近な(学校、学区、トピックスなど)物に興味を持っていること。
 - ・教科書の太字が正しく書けること。
 - ・教科書の太字の説明を自分の言葉でできること。
 - ・実験器具の名前や正しい操作方法を知り、自分でできること。
- (4) テスト前の学習方法は？
 - ・毎回の授業を大切に、プリントをしっかりと見直しましょう。
 - ・計画的に学習を進めること。
 - ・基本事項は確実に覚えましょう。(「光合成とは……」など自分で誰かに説明できるようにならないと、理解しているとは言えません)
 - ・計算問題は、繰り返し練習し、諦めることがないようにしましょう。
 - ・余裕があれば、自分で買った参考書や問題集に目を通すとよいでしょう。

音楽 科の学習《3年》

1 目標(学習のねらい・教科の特徴)

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して音楽的な見方・考え方を働かせ生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質能力を身につける。

2 教科書・副教材・持ち物

教科書	教科書 2・3 上・下・器楽
持ち物	(常時)教科書(3冊)・ノート・のり・鍵盤ハーモニカ・クロームブック・筆記用具
意欲	元気の歌声。明るい笑顔。豊かな表情。音楽を楽しむ気持ち

3 年間の学習項目

前 期	後 期
歌唱：花	器楽：ギター
器楽：鍵盤ハーモニカ	鑑賞：総合芸術「オペラ」など
鑑賞：「ボレロ」「敦盛」	創作：「オリジナルソングを作ろう」
歌唱：合唱祭に向けての取り組み	歌唱：卒業式で歌う曲

4 評価の観点と主な評価方法

評 価 の 観 点	主 な 評 価 方 法
知識・技能 音楽的な特徴及び構造と曲想との関わりについて表現及び鑑賞の活動を通して理解しそれを表現する技能を持っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート・ワークシート ・活動の様子 ・実技試験
思考・判断・表現 音楽を形作っている要素を聴き取りそれらの働きが生み出す良さや面白さを感じ取りながら音楽表現を工夫しどのように表すかについて思いや意図をもってそれを伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート・ワークシート ・活動の様子 ・発表や発言
主体的に学習取り組む態度 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現活動・鑑賞に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート・ワークシート ・活動の様子 ・発表や発言

5 先生からのアドバイス

歌唱

日本の歌として滝廉太郎の「花」「合唱曲」などを歌います。心に残るよい歌をたくさん歌っていきましょう。響きのある美しい歌声を目指して学習に取り組みましょう。

器楽

鍵盤ハーモニカ、ギターを使い様々な曲を演奏します。ギターは、基本的な奏法をしっかりと身につけ、次なる難易度レベルの曲を演奏していきましょう。

創作

鍵盤ハーモニカを使用し、中心にしてテーマに合ったメロディーを作ります。歌詞の意味やイントネーションを活かした素敵なメロディーを創りましょう。ギターで伴奏しながら弾き語りができるように練習しましょう。

鑑賞

日本の伝統芸能「能」を学びます。また西洋の音楽のラヴェルの「ボレロ」やオペラ「アイダ」を鑑賞します。楽曲の構成を理解して聴きます。いろいろな音楽に興味を持ち、沢山のことを感じ取り、音楽の良さや美しさを味わいましょう。

美術科の学習《 3 年》

1 目標(学習のねらい・教科の特徴)

- | |
|--|
| <p>(1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。</p> <p>(2) 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。</p> <p>(3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。</p> |
|--|

2 教科書・持ち物

教科書	美術 1、美術 2・3 上、美術 2・3 下
基本的な持ち物 (美術セット)	<ul style="list-style-type: none"> ○アクリル絵の具セット ○鉛筆 (B以上の濃さが望ましい) ○色鉛筆 (12色以上) ○油性サインペン ○のり ○はさみ ○セロハンテープ ○定規 ○ホチキス ○絵の具用の雑巾
課題によって必要な持ち物	作品を入れるビニール袋など。課題に入る前の連絡を聞いて用意してください。

3 年間の学習項目

前 期	後 期
<ul style="list-style-type: none"> ○写真表現 ○鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業制作 (カリンバ作り) ○鑑賞

4 評価の観点と主な評価方法

評 価 の 観 点	主 な 評 価 物
(1) 知識・技能 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などを捉えることを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品などの提出物 ・ 授業への準備 ・ 鑑賞
(2) 思考・判断・表現 表現の意図と創造的な工夫について考え、見方や感じ方を深めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイデアスケッチ ・ 作品 ・ 鑑賞
(3) 主体的に学習に取り組む態度 主体的に新しい視点で作品のよさや美しさを探し深めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品 ・ 授業に取り組む態度

5 先生からのアドバイス

○思考・判断・表現

週 1 回の授業に、持ち物をしっかり準備して臨み、取りかかりを早く、集中して作業を進めるようにしましょう。道具を丁寧に扱うことも非常に大切です。提出物の未提出や、作品未完成が絶対ないようにしましょう。

日頃からいろいろな作品や表現の他、自然や様々な材料に関心をもって見たり、伝統や文化、社会と美術について考えてみたりしましょう。

○知識・技能

自画像では、鏡や写真などを用いて自分と見つめたり、自分らしさについて考えたりしてイメージをふくらませ、画面構成を工夫しましょう。

自分の想いやイメージを言葉やスケッチに描き、目的や機能を考えて構想を練って、作品制作の計画を立てましょう。

作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の考えを言葉や文章に表すことができるようになりましょう。そして自分ひとりの感想や気づきで終わらせず、思いや考えを説明し合うなどして、見方や感じ方を広げましょう。

○主体的に学習に取り組む態度

主調色や道具の使い方について理解し、自分の意図にあった着彩の仕方を工夫しましょう。また、絵の具だけではなく、様々な材料を使って表現しましょう。

意図に応じて色や形、材料を工夫し、計画的に作業を進め、丁寧に作品を完成させましょう。美術を生活に生かすことは、私達がより豊かに生きていくためにとても大切なことです。

保健体育科の学習《3年》

1 目標(学習のねらい・教科の特徴)

運動の合理的な実践を通して、体を動かすことの楽しさを味わうことができるようにする。また、各単元におけるルールや知識、技能を身につけ、持てる力を精一杯発揮し、結果に対して公正な態度がとれるようにする。さらに運動を行うことによって自己の体力に関心を持ち、自主的・自発的に活動できるようにする。

2 教科書・副教材・持ち物

教科書	体育実技、新しい保健体育（東京書籍）
授業の持ち物	ファイル、筆記用具、3年間の保健資料ノート

3 年間の学習項目

前 期	後 期
<ul style="list-style-type: none"> ○体づくり運動・集団行動 ○新体力テスト ○球技 陸上・器械運動 ハードル（必修） 跳び箱・マットから選択 ○陸上（短距離走・リレー） ○運動会に向けての練習 ○保健学習（健康と環境） 	<ul style="list-style-type: none"> ○球技 サッカー ハンド・バレーから2種目選択 ○球技 サッカー、ハンドボール 卓球・バドミントン テニス ○陸上（長距離走） ○保健学習（健康な生活と疾病の予防）

4 評価の観点と主な評価方法

評 価 の 観 点	主 な 評 価 物	
運動や健康・安全について、具体的な方法、学び方や安全な行い方を理解し、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	学習カード 小テスト 技能テスト	授業中の取り組み方を観察評価 ・技能のポイントを伝えている
自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、運動の取り組み方や運動の組み合わせ方を工夫し、考えたことを他者に伝えている。	学習カード グループ活動	・仲間の課題やできばえを伝えている ・仲間へ助言したり、仲間の学習を援助している
公正、協力、責任、共生などに対する意欲を持ち、健康・安全に留意して学習に積極的に取り組もうとしている。	学習カード グループ活動	・健康安全に留意して取り組んでいる等)

5 先生からのアドバイス

○体づくり運動・集団行動

- ・授業規律をしっかりと守りましょう。
- ・自ら進んで体力を高めようと努力し、自己の体力に興味・関心を持ちましょう。
- ・姿勢に気をつけながら、相手のことを気遣う気持ちを大切にして取り組みましょう。

○陸上（ハードル・短距離走・リレー・長距離走）

- ・個人種目は、学習カードの記入を頑張りましょう。毎時間にめあてを持ち、自己の記録に挑戦しようとする前向きな気持ちが大切です。途中で諦めたりせず、目標記録に向けて努力できると良い。
- ・グループ活動を充実させましょう。友だちと協力して互いに高め合い、評価活動ができると良い。

○器械運動（跳び箱運動・マット運動）

- ・苦手意識の高い生徒が多いと思いますが、自己の能力に応じて段階的に進めていきましょう。それぞれ課題となる技や連続技を、できないと最初から決めつけず、補助をしてもらいながら成功体験が増えるように努力しましょう。
- ・難しい技もあることから、安全に留意して真剣に取り組みましょう。また、補助も大切になります。気をゆるめずに声をかけあって行うようにしましょう。

○球技（バレーボール、ハンドボール、サッカー）

- ・個人でなく、チームでの活動になります。自分だけ楽しければ良いのではなく、周り協力して授業をつくっていきましょう。また、チームの作戦立てをしっかりと行い、めあてを持って臨みましょう。
- ・授業の雰囲気悪くするような言葉かけ（マイナス要因）は避けましょう。仲間の意欲を削ぐことに繋がってしまいます。

○バドミントン・卓球・テニス

- ・持てる力を存分に発揮し、試合をしましょう。
- ・ルールや技能ポイントをしっかりと理解しましょう。

○全体を通して・・・

- ・グループ活動（学び合い）が体育の柱になります。自分だけが上達すれば良いのではなく、仲間とともに技能を高められる活動をしていきましょう。
- ・集合時間、体育のルールをしっかりと守り、意欲的に活動できるようにしましょう。

【知識・技能】

- ・各運動の特性（ルール・行い方・成り立ちなど）を理解しましょう。
- ・運動に関連して高まる体力と、健康・安全の留意点について理解しましょう。
- ・運動の特性にあった基本的な技能を身につけましょう。
- ・健康・安全な生活を送るための知識を身につけましょう。

【思考・判断・表現】

- ・授業を振り返り、学習カードにまとめましょう。
- ・自己の課題を発見し、解決方法を考え、運動の取り組み方を工夫しましょう。
- ・反省や感想から次回のめあてを立てられるようにしましょう。
- ・バディ活動を充実させ、考えたことを仲間に伝えましょう。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・健康・安全に注意して、学習に積極的に取り組みましょう。
- ・仲間と互いに協力し、自己の役割を果たしましょう。
- ・フェアなプレイを大切に、ルールやマナーを守りましょう。
- ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしましょう。
- ・バディ活動を充実させ、助け合ったり、教え合ったりしましょう。

技術科 学習の手引き《全学年》

1 目標（学習のねらいや教科の特徴）

材料と加工に関する技術・エネルギー変換に関する技術・生物育成に関する技術・情報に関する技術の4つの領域に対して、理論と実践のもとに基礎・基本的な技術の習得および知識としての定着を図る。さらに、現在または将来の社会や環境を見据え、習得したことを活用する能力と態度を身に着ける。

2 教科書、副教材、持ちもの

教科書	新しい技術・家庭科 技術分野（東京書籍）
副教材	1年：本立ての製作(材料と加工の技術)、豆苗の栽培（生物育成の技術） 2年：ウディーキューブラジオの製作(エネルギー変換の技術) 3年：コロックルの製作とプログラム制御(情報の技術)
持ち物	1・2・3年：ファイル（ノートは使用しません） ※各学年、作業で必要なものについては、後日連絡します。

3 年間の学習項目

- 1年：A 材料と加工の技術 B 生物育成の技術・・・前期に授業を実施します。
2年：C エネルギー変換の技術・・・・・・・・・・後期に授業を実施します。
3年：D 情報の技術・・・・・・・・・・通年、隔週で授業を実施します。

4 評価の観点と主な評価方法

	観点の内容	評価の方法
1 観点 知識・技能	生活や社会について基礎的な事柄を理解するとともに、それらに係る技能を身につけている。	定期テスト 作品の完成度 ポートフォリオの記述内容 など
2 観点 思考・判断 表現	生活や社会の中から問題を見つけて課題を設定し、学習した内容を活用して解決する力を身につけている。	ワークシートの記載内容 グループ活動等の行動観察 ポートフォリオの記述内容 など
3 観点 主体的に 学習に 取り組む態度	よりよい生活や社会の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしている。	ワークシートの記載内容 グループ活動等の行動観察 ポートフォリオの記述内容 など

5 授業で心がけてほしいこと

- 授業準備（時間・服装・持ち物）を確実に整える。
説明や見本実践に集中する。
安全に十分注意して作業する。
道具や機械を正しく・丁寧に使用する。
友達と助け合いながら作業する。
学習環境の整理整頓に努める。

習ったことを、どうやって実生活に生かすかを考え、実践しましょう。

家庭科 学習の手引き 《全学年》

1 目標（学習のねらいや教科の特徴）

家族・家庭、衣食住、消費生活に関する実践的・体験的学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的な・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようと努力する。

2 教科書、副教材、持ちもの

教科書	技術・家庭科 家庭分野（開隆堂）
副教材	1年：基礎縫いコンビニバッグ 2年：調理実習費500円 3年：なし
持ち物	共通：教科書 B5のノート（2・3年は昨年度のものでも可） 筆記用具 のり PC 1年：裁縫セット（実習時） 2年：エプロン・三角巾・マスク・タオル3枚（食器用、台ふき用、ハンカチ）

3 年間の学習項目

1年：後期	2年：前期	3年：通年、技術と隔週
A 家族・家庭生活 ・自分の成長と家族・ 家庭生活 B 衣食住の生活 ・衣生活分野 ・住生活分野	A 家族・家庭生活 ・高齢者 B 衣食住の生活 ・食生活分野	A 家族・家庭生活 ・保育分野 ・高齢者 C 消費生活・環境

4 評価の観点と主な評価方法

	観点の内容	評価の方法
1 観点 知識・技能	生活や社会について基礎的な事柄を理解するとともに、それらに係る技能を身につけている。	定期テスト 作品の完成度 ポートフォリオの記述内容 など
2 観点 思考・判断 表現	生活や社会の中から問題を見つけて課題を設定し、学習した内容を活用して解決する力を身につけている。	定期テスト ポートフォリオの記述内容 など
3 観点 主体的に 学習に 取り組む態度	よりよい生活や社会の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしている。	ノートの記載内容 ポートフォリオの記述内容 グループ活動等の行動観察 など

5 先生からのアドバイス

★★習ったことを、どうやって実生活に生かすかを考え、実践しよう★★

- ・家庭科の目的は、「自分の生活をより豊かにする」ということです。
そのためには、実際に生活に生かしていかないと意味がありません。
- ・習ったことを思い出して、家で取り組んでみてください。

授業・学習のポイント

① あいさつ・返事は元気よく

- ・あいさつと返事は人と関わる時の基本です。しっかりと行ってください。

② 忘れ物をしない

- ・忘れ物をしたら授業中何もできず、自分が困ってしまいます。
- ・学校で保管している教科なので、しっかり保管し、忘れずに準備しましょう。
※学習するために持ち帰った際は忘れないよう必ず確認しましょう。

③ 実習を行う時は、

話をしっかり聞く・わからないことは必ず質問・集中

- ・時間内に丁寧に作り終わるために、重要です。しっかり取り組みましょう。

④ 定期テストは期末テストのみです。

- ・言葉だけを覚えるのではなく、言葉の意味や関係することをしっかり理解しましょう。
- ・ノートや教科書を眺めているだけでは、テスト勉強になっていません。後悔しないように頑張ってください。

英語の学習 [3年]

1. 目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 基本的な英語を聞き取り、話すことができる。・ 書かれている事柄を理解し、正しく発音したり、音読したりすることができる。・ 自分の考えを簡単にまとめて書いたり、発表したりすることができる。 |
|---|

2. 教科書・副教材・持ち物

教科書名	NEW HORIZON 3 (東京書籍)
授業の持ち物	教科書、ノート、ワークブック、A4ファイル

3. 年間の学習計画

Unit 0	1, 2年生で学習したことの復習
Unit 1	これまでに経験したことに基づいて相手に会ったプランを伝えることができる。
Unit 2	ずっと好きなことや、これまで取り組んできたことについて伝え合うことができる。
Unit 3	自分の意見や考えを加えて記事を書くことができる。
Stage Activity 1	これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。
Unit 4	標識が何を意味しているかを説明することができる。
Unit 5	人やものについて詳しい情報を加えて説明することができる。
Stage Activity 2	日本や郷土の文化などを紹介する文を詳しい情報を加えながら書くことができる。
Unit 6	架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。
Stage Activity 3	主張とその理由を明確にしながら感想や意見を述べたりすることができる。

各 Unit 間で行う活動

Let's Talk	様々なことについて、人と対話したり自分の考えなどを述べる ことができる。
Let's Listen	話された内容を聞き取り、理解することができる。
Let's Write	目的に合わせて手紙やレポート、意見を書くことができる。
Let's Read	書かれている内容を読み、書き手の考えなどを理解する ことができる。

4 評価の観点と主な評価方法

	評価の観点	主な評価物
観点1	英語のきまりや特徴を理解し、それらを活用できる技能を身につけている。	定期テスト、ワークシートの記述、スピーチ、会話活動、小テストなど
観点2	目的や場面に応じて身近な内容を伝えあったり理解することができる。	定期テスト、スピーチ、表現活動・会話活動、英作文、リスニングなど
観点3	主体的にコミュニケーションを図り、英語を運用する能力を高めようとしている。	スピーチ、表現活動・会話活動、英作文、リスニング、自己評価カードの記述、ノート記述など

先生からのアドバイス

☆英語の上達には、「繰り返し学習」が大切です！

【授業の取り組み】

- ・忘れ物をせずに、確実に授業の準備をしましょう。
- ・3分前に着席をし、落ち着いた状態で授業を始めましょう。
- ・先生や放送される英語をよく聞いて大きな声で発音し、正しい発音を身に付けましょう。発音が身につかないと、単語は覚えられません。
- ・進んで発表し、授業に積極的に取り組みましょう。
- ・ペアやグループ学習に積極的に取り組みましょう。
- ・ノート整理をしっかりと行い、プリントはファイルに綴じて保存しましょう。
- ・宿題や提出物は期限を守って提出しましょう。

【家庭学習】

- ・単語や基本文は何度も書いて練習し、覚えましょう。
- ・教科書本文を何度も音読しましょう。できれば暗記し、さらに書けるようにしましょう。
- ・授業の進度に合わせて、e-ライブラリや参考書を使って問題に取り組みましょう。
- ・聞き取りの力を付けるために、語学番組を視聴しましょう。
- ・英語の歌や映画など海外の文化に触れて楽しみましょう。
- ・英語検定に挑戦することも一つの勉強法です。(実施日は6/2、10/6、1/26)
詳細はホームページで確認してください。なお、6/2 実施の試験に関しては申し込み期間が5/8 までとなっています。

【テスト勉強】

- ・単語・連語の意味・発音・綴りを確実に覚えましょう。
- ・教科書本文の内容や各單元ごとの文法事項を理解しましょう。
- ・教科書本文を読み、文の訳や内容など、自分の理解度を確認しましょう。
- ・プリント類を見直しましょう。

No Study = Fail, Study = No Fail

船橋市立海神中学

